

○第9次静岡県長寿社会保険福祉計画（賀茂圏域計画）と取組み事例

1 自立支援、介護予防・重度化防止

現状と課題	課題への対応	県・市町での具体的な取組・実績（例）
○リハ専門職の派遣業務が地域リハ広域支援センターに集中。支援センター・協力機関等の派遣体制強化や人材育成が必要。	○広域支援センターの機能を強化し、リハ専門職の派遣調整等を実施。市町事業でのリハ専門職活用やリハ専門職の意見を反映する関係を構築。	○地域リハ強化推進事業を熱川温泉病院に委託、リハ専門職の派遣調整を実施 【派遣調整実績】 令和2年度：19件 ・東伊豆町：4、河津町：4、南伊豆町：11 令和3年度：7件（12月末時点） ・下田市：3、東伊豆町：2、河津町：1、南伊豆町：1
○通いの場での効果的な健康づくりや介護予防のため、リハ専門職、管理栄養士、歯科衛生士等、専門職との連携推進が必要。	○保健事業と介護予防の一体的実施において市町の介護予防事業に協力可能な歯科衛生士等を育成。 ○通いの場等にリハ専門職や歯科衛生士等を派遣し健康課題の把握・解決を図る。 ○研修の場等で、介護関連の様々な職種とリハ専門職の顔が見える関係構築を推進。	○保健事業と介護予防の一体的実施で以下の事業を実施。 ①通いの場で活動する管理栄養士・歯科衛生士向けの研修 8/2 から 8/31 まで web 配信で実施 修了者数：管理栄養士・栄養士：99名 歯科衛生士：93名 ②栄養ケアステーション、県口腔保健支援センターでの専門職の派遣調整実績（12月末時点） 栄養ケアステーション：1件 県口腔ケア ST：1件 ※コロナ禍で通いの場の活動が十分になされていなかった可能性があるため、現在実態について各市町・包括へ調査中。

現状と課題	課題への対応	県・市町での具体的な取組・実績（例）
○自立支援等における摂食嚥下や口腔ケアの重要性は浸透してきたが、これらを担う言語聴覚士や歯科衛生士等が不足。	○口腔ケアを担う専門職育成のため、研修の周知等を関係団体との連携を重視し実施。	○県歯科医師会や県歯科衛生士会等と連携し周知を実施。
○自立支援型地域ケア会議をより効果的にするため、介護サービス利用者や家族への自立支援の考え方の周知が必要。 ○より良いケアの提供のため、ケアプランを作成するケアマネの資質向上が必要。	○自立支援型地域ケア会議へのアドバイザー派遣や研修での好事例共有を通じ、専門職の自立支援への意識醸成を図り、介護サービス利用者やその家族の理解促進を支援。	○地域ケア会議活用推進事業の「介護予防活動普及アドバイザー派遣」での地域ケア会議開催への助言等の実績（12月末時点） ・ 1件（松崎町） ※2月に湖西市への派遣予定あり。

2 在宅医療・介護連携

現状と課題	課題への対応	県・市町での具体的な取組・実績（例）
○在宅療養の需要は増加見込みだが、住民の在宅医療やACP（人生会議）への理解が十分でない。	○1市5町で賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援センターを共同運営し、ブロックごとの講演会等の開催を通じ、看取りやACP等の住民啓発や専門職の理解促進を図る。	○1市5町で賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援センターにおいて以下の取組を実施 【令和2年度】 ・人生会議、終末期医療、お薬手帳等に関する住民向け回覧や市町広報誌掲載 ・看取り、訪問指導、人生会議に関する講演会 【令和3年度】 ・人生会議、専門職、介護保険サービスの紹介など住民向け回覧 ・ACPについて、広報しもだ、広報みなみいずに掲載 ・賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援Cについて広報かわづに掲載
○当圏域の医療・介護の資源の状況から、在宅での看取りに加え、病院と介護施設が連携した施設での看取りの推進も必要。	○医療介護関係者が集まって合同の研修会等を開催し、地域での看取りを推進。	○1市5町で賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援センターにおいて以下の取組を実施 【令和2年度】 ・薬局薬剤師の在宅療養への関わりについての研修を各ブロックで開催。 ・多職種事例検討会各ブロックで開催。 【令和3年度】 ・住民の意思表示を進める作業部会開催。（下田・南伊豆ブロック） ・多職種事例検討会各ブロックで開催。河津会場では本人の意思により最期を自宅で過ごせたケースについて検討。

現状と課題	課題への対応	県・市町での具体的な取組・実績（例）
○在宅療養での服薬管理等、薬剤師の訪問業務には需要があるが、住民や他の専門職に薬剤師の訪問業務が知られていない。	○在宅訪問可能薬局マップ等の周知啓発を支援し、薬剤師の訪問業務の理解促進を図る。	○県から各地域の薬剤師会に委託し、在宅訪問可能薬局マップの配布等を実施。
○基幹病院や近隣圏域の医療機関等との連携推進のため、シズケア*かけはしの活用推進が必要	○県医師会に開設されたシズケアサポートセンターと連携し、シズケア*かけはしの活用促進を図る。	○賀茂圏域のシズケア*かけはし登録施設数 R2 年度末時点：29 件 R3.12 末時点：27 件

3 認知症施策

現状と課題	課題への対応	県・市町での具体的な取組・実績（例）
<p>○認知症への正しい理解が不十分で受診や介護サービス利用を望まない場合があるため、理解促進の取組継続が必要。</p> <p>○認知症になってもその人らしく幸せに暮らしている人も増えているため、認知症の人本人からの発信も必要</p> <p>○認知症疾患医療センターの住民の認識が不十分であるため、更なる周知が必要。</p>	<p>○認知症疾患医療Cの住民向け相談会実施を支援することで、認知症疾患医療Cの周知や認知症の正しい理解を促進。</p>	<p>○「認知症の人をみんなで支える地域づくり推進事業」での認知症疾患医療センターでの集団相談事業実施への補助や担当者連絡会の実施。</p> <p>○県 HP において認知症疾患センターの概要や県内の認知症疾患医療センター一覧を掲載。</p>
<p>○認知症の人が市町を越えて行方不明となることもあるため、市町域を越えた見守り・SOS ネットワークの連携が必要。</p>	<p>○市町と警察の連絡会等を開催し、市町域を越えた見守り・SOS ネットワークの連携を図る。</p>	<p>○検討会・研修会の開催実績</p> <p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3.1.27に当事者団体や市町、県警等が参加の検討会開催。市町での運用状況や課題について検討を実施。東伊豆町が参加。 <p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月～3月にかけて、検討会開催を検討 ・研修会開催予定はないが、事前登録増加のためのチラシにより、関係機関に周知。 <p>○行方不明となる恐れのある方の市町ごとの事前登録件数（令和2年度末時点）</p> <p>下田市：5、東伊豆町：44、河津町：0、南伊豆町：4、松崎町：2、西伊豆町：4</p> <p>○各市町の見守りネットワークの構築数（令和2年度末時点）</p> <p>下田市：1（15団体）、東伊豆町：1（87団体） 河津町：1（11団体）、南伊豆町：1（19団体） 松崎町：3（9団体）、西伊豆町：3（15団体）</p>

現状と課題	課題への対応	県・市町での具体的な取組・実績（例）
<p>○認知症の早期対応では、地域包括支援センターの総合相談や初期集中支援チームでの多職種連携での対応が必要。</p> <p>○認知症の場合、服薬管理が難しいため、関係者全体で取り組むことが必要。</p>	<p>○認知症初期集中支援チームや認知症地域支援推進員等が集まる連絡会を通じ、早期対応の好事例共有を図り、多職種連携を促進。</p> <p>○薬局や訪問看護、訪問介護等の多職種連携により認知症の方の服薬管理に対応。</p>	<p>○認知症総合支援連絡会開催実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度までは、東部地域の5つの健康福祉センター合同で「認知症総合支援事業連絡会」として開催。 ・令和2年度以降は、健康増進課主催の「認知症初期集中支援チーム員現任者研修会」や「認知症地域支援推進員現任者研修会」等と統合して開催。
<p>○生活習慣病予防による認知症発症リスクの低減が住民に十分に知られていない。</p>	<p>○保健事業と介護予防の一体的実施等の取組を通じ、生活習慣病予防が認知症発症リスク低減につながることを周知。</p>	<p>○かかりつけ医等が生活習慣病の重症化予防とフレイルの評価を合わせた総合的評価を行い、高齢者の状態に応じたサービス等につなげる仕組みの構築を目的とした「保健事業と介護予防の一体的実施」の先進事例導入の医師会モデルを通じて実施。3/1に事例報告会を開催予定。</p>

4 介護サービス

現状と課題	課題への対応	県・市町での具体的な取組・実績（例）
<p>○2019年から2023年にかけて、介護サービス利用者は在宅、施設・居住系いずれも増加見込み。</p> <p>○2019年の施設・居住系サービスの定員数は2015年に比べ減少している。</p> <p>○特養への入所希望者の内、6ヶ月以内に入所を希望する人の人数は2015年から2018年にかけて減少。</p> <p>○要介護認定者の内、在宅サービス利用者は2019年から2023年にかけて増加の見込み。</p> <p>○訪問リハの利用者は増加傾向。今後、現在のサービス提供量を維持し需要に対応するには、リハ専門職の確保など提供体制の強化が必要。</p> <p>○県内でも高齢化が特に進んでいる地域であり、介護人材の不足が深刻。</p>	<p>○訪問リハや訪看等、在宅介護を支えるサービスの提供基盤の強化を図る。</p> <p>○全県的に実施している介護人材育成・確保事業を周知し、県域内の人材確保を支援。</p> <p>○人材確保や制度改正対応など事業所共通の課題を共有し、安定的なサービス提供に資する好事例の普及するため、市町の介護事業所連絡会や集団指導などの機会に情報発信を実施。</p>	<p>○「地域リハ強化推進事業」の「訪問リハ人材養成研修」において、1～2月にかけて、以下の研修等をwebで実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション多職種共同研修会 ・訪問におけるリハビリ及び看護の連携・活用・合同シンポジウム <p>○訪看の魅力周知等を目的とした訪問看護推進事業「訪問看護就業セミナー」開催実績</p> <p>R2：県内9カ所で開催 延べ42名参加</p> <p>R3：県内6カ所で開催 延べ21名参加</p> <p>○訪看ST新設や研修・人件費等への補助を目的とした「訪看ステーション設置促進事業」や「訪看提供体制充実事業」での補助件数実績</p> <p>【訪看ステーション設置促進事業】</p> <p>R2：16件（0）、R3：16件（0）見込み</p> <p>【訪看提供体制充実事業】</p> <p>R2：27件（0）、R3：36件（0）見込み</p> <p>※（）内は賀茂地域の件数</p> <p>○12月～1月にかけて、介護周辺業務を担う「介護サポーター」の育成に係る入門研修の説明会を下田市内で4回開催</p> <p>○1月に管内の事業所が集まる「福祉の就職相談会」を下田、東伊豆、西伊豆の各会場で開催</p> <p>○管内の中学校を対象に「福祉のお仕事魅力発見セミナー」を開催。</p>

5 その他 ※各事業の詳細な内容は別添資料3-2～3-4を参照。

現状と課題	課題への対応	具体的な取組例 ※
<p>ア 権利擁護</p> <p>○認知症等で判断能力が十分でない方の増加に備え、成年後見制度等での支援や圏域内の権利擁護体制の一層の強化が必要。</p>	<p>ア 権利擁護</p> <p>○成年後見制度等による権利擁護体制の充実のため、各市町、各市町社協及び専門職等の連携による市民後見人育成等を継続</p>	<p>○市民後見人育成等を6市町共同で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成講座修了者数（R2年度末）：65人 <p>※R3年度は養成講座に代え、各市町で成年後見制度等の普及啓発に係る研修を実施</p>
<p>イ 移動支援</p> <p>○高齢により運転が困難な方が増加する一方で、移動手段として車が不可欠な地域であるため、買物等、日常生活での支援が必要</p> <p>ウ 多様な人材育成・確保</p> <p>○生産年齢人口が減少し、医療・介護の担い手が不足する中、専門職に限らず、高齢者を含めた地域住民が地域の支合い活動に参加しやすくなる環境や体制の整備が必要。</p>	<p>イ 移動支援</p> <p>○市町が主体となり、住民や社協、社福法人等を交えた運連ボランティア養成等、地域の実情に合わせた移動支援策の検討</p> <p>ウ 多様な人材育成・確保</p> <p>○壮年熟期の方を対象に運転ボランティア養成講座や居場所づくりセミナー等を開催し、住民の中から担い手を発掘。</p>	<p>○壮年熟期が活躍するいきいき長寿社会づくり事業で市町において以下の取組を実施。</p> <p>【運転ボランティア養成講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度末までに6市町全てで開催。 <p>【移動サービス実証実験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度末までに6市町全てで実施済み、または実施予定。 <p>【人材確保の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロボノ勉強会の開催（南伊豆町） ・居場所づくりセミナー、模擬居場所の実施（松崎町）
<p>エ 住民の健康寿命延伸等に向けた取り組み</p> <p>○健康指標が悪く、資源に限られる中、要介護・要支援状態の軽減や重度化防止のため、住民の健康維持・増進や介護予防が必要</p> <p>○住民の健康寿命の延伸と生活の質向上のため、市町、3師会、県で設置した「賀茂地域健康寿命延伸等協議会」を中心とした取り組みの充実が必要。</p>	<p>エ 住民の健康寿命延伸等に向けた取り組み</p> <p>○市町、3師会及び県に加え、民間企業とも連携し、広域で重症化予防等に取り組む。</p>	<p>○賀茂6市町と民間企業との協定締結実績</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 中北薬品(株) (R1年度締結) <ul style="list-style-type: none"> ・市町イベントへの健康機器貸出や健康レシピ広報番組への出演を実施 ② 明治安田生命(相)平塚支社 (R2年度締結) <ul style="list-style-type: none"> ・町営温泉での測定イベント開催や各種健(検)診の受診勧奨チラシ配布を実施 ③ 住友生命(相)沼津支社 (R3年度締結) <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診・がん検診の受診勧奨や健康マイレージ事業の周知等を予定 ④ 日本生命(相)沼津支社(現在調整中) <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守りやがん検診受診促進等を予定。